

# APPEAL

発行者  
JR 東海労関西地本  
大阪台車検査車両所分会  
2013年 2月12日  
NO.16

## 二十歳の突然の退職を考えよう！

いつのまにか会社から  
排除の道はつくられています！

若きユニオン組合員の皆さん！

2月5日付けで入社二年目の若き社員が突然退職しました。彼は最後に笑顔で退職の理由として「消防士」になる胸の内を明らかにしました。

ところで彼はなぜ他の職業を選択したのでしょうか？彼に JR 東海会社より他の職業が魅力的に感じさせるもとはいかなる理由なのだろうか？約2年間も同僚や先輩に打ち明けることがないまま突然の退職です。

やはり彼の退職は胸一杯、希望と期待をふくらませて入社してみたものの月日を重ねるごとに、だんだんと自分の考えとかけ離れた環境がいつの間にかつくられたのではないのでしょうか？そして一日でも早くこの職場を去りたい気持ちが「遅刻」という一つの事象によって、退職という道を選択させたことは簡単に推論できます。

職場内ではまことしやかに多くのユニオン組合員の口々から「やはり遅刻が一番の原因では！」「時系列の書き直しをさせられていやになったのでは！」「あれだけしつこく上に上げられていたらいやになる！」などが語られていました。

このことはいまの職場環境から考えるとともな意見であると思います。思い返せば彼の遅刻と同時期に米原駅では21才の若者が一時間前出勤を強要され、それに遅れただけで遅刻未遂と管理者からなじられ人間性まで破壊をされ自らの命を絶つという痛ましい事態を招いています。このように社員は肌身に感じていきます。遅刻や些細なミスや破廉恥行為によって、会社に不利益な事態をつくりだした社員は、社会通念上当たり前と称して本人の責任でかたづけられています。そしてその背後要因に何一つふれることなく、あからさまに容赦なく排除してきています。その行為は巧妙かつ陰險な「労務管理」の本質であるといえます。だから「死」か「退職」かによる排除となるのです。若きユニオン組合員の皆さん！どう思われますか？

か環思  
！境いい  
にあると  
描いた  
思いた  
魅力的  
思います  
な  
が  
まの  
職場は  
自分的  
な  
が

私たちは職場の声を訴えていきます！